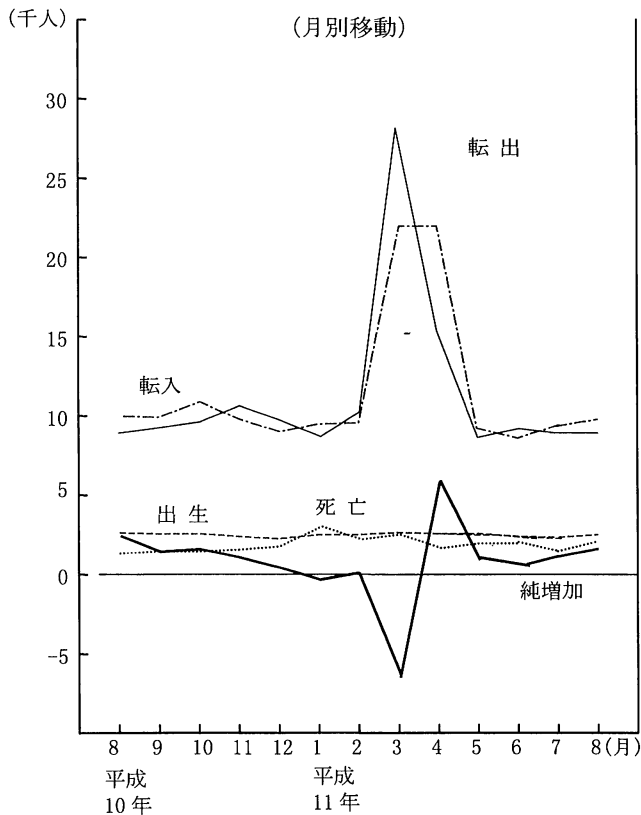
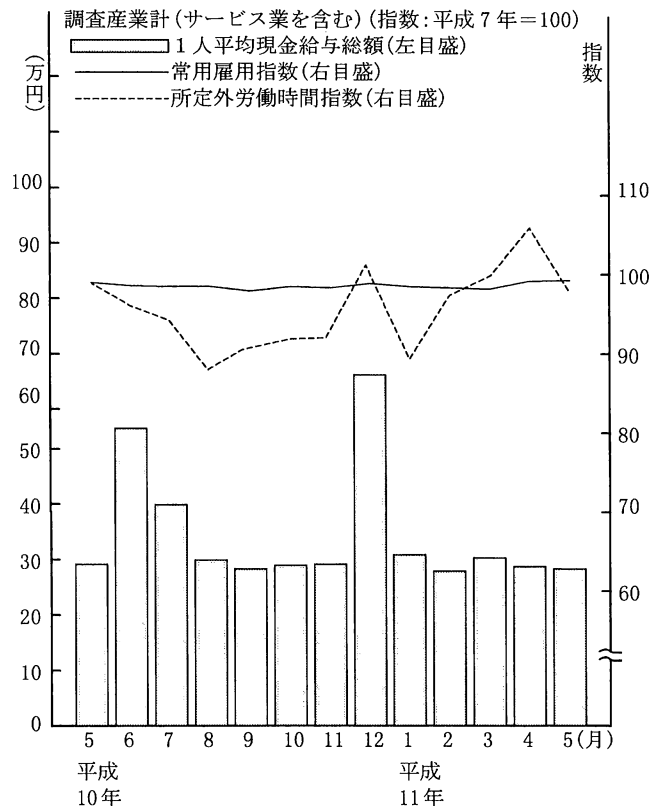


今月の主な動き

人 口



賃金・労働時間・雇用



■人口 (11年9月1日)

8月の概況

本県の人口は、8月中に1,530人増加し、9月1日現在で2,998,351人(男1,496,779人,女1,501,572人)となった。

内訳は、自然動態で、755人(出生2,527人,死亡1,772人)増加し、社会動態で、775人(転入9,828人,転出9,053人)増加した。前年同月と比べると6,230人(0.2%)の増加である。

市町村別では、増加が17市41町村,減少が3市23町村,増減なしが1町である。

世帯数についても8月中に1,175世帯増加し、985,456世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用 (11年5月)

1. 平均賃金の推移

5月の現金給与総額は、調査産業計で278,208円,対前年同月比0.7%減であった。現金給与総額のうちきまって支給する給与は271,522円,対前年同月比2.0%減,特別に支払われた給与は、6,686円であった。

2. 労働時間

5月の総実労働時間は、調査産業計で147.8時間,前年同月と同水準であった。総実労働時間のうち、所定内労働時間は137.8時間,対前年同月比0.1%増であった。所定外労働時間は10.0時間,対前年同月比1.1%減であった。

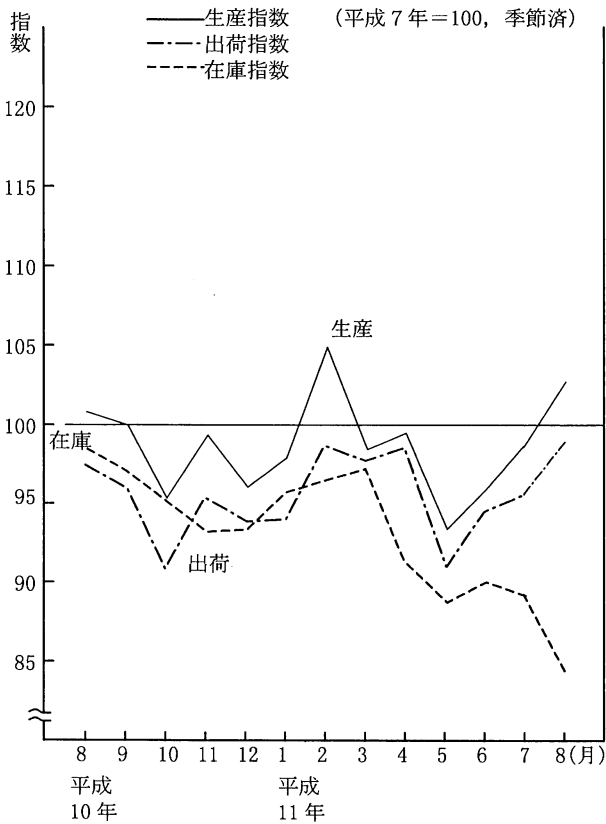
3. 雇用の動き

5月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比0.2%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

■ 鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

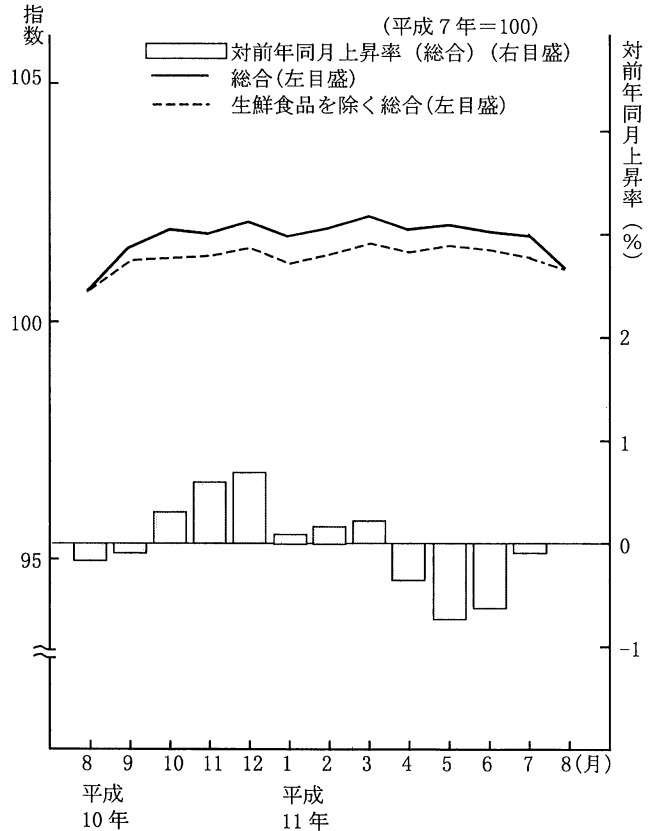


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（11年8月）

本県における平成11年8月の“鉱工業指数”（平成7年=100）は、季節調整済指数で、生産が102.7、出荷が98.9、在庫が84.4であった。

- 1 生産の前月比は、4.8%の上昇、前年同月比は1.9%の上昇であった。業種別に前月比をみると、鉱業、電気機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、精密機械工業、化学工業等が低下した。財別にみると、耐久消費財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財が低下した。
- 2 出荷の前月比は3.5%の上昇、前年同月比は0.9%の上昇であった。業種別に前月比をみると、電気機械工業、鉱業、輸送機械工業等が上昇し、精密機械工業、繊維工業、化学工業等が低下した。財別にみると、耐久消費財、資本財等が上昇し、その他用生産財が低下した。
- 3 在庫の前月比は△2.1%の低下、前年同月比は△14.4%の低下であった。業種別に前月比をみると、食料品・たばこ工業、非鉄金属工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、一般機械工業、石油・石炭製品工業、精密機械工業等が低下した。財別にみると、非耐久消費財、建設財等が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。

■ 消費者物価指数



■ 消費者物価指数（11年8月）

平成11年8月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.2（平成7年=100）となり、対前月比は（+）0.1%の上昇、対前年同月比は0.0%となった。

- 今月の上がった主な項目・・・野菜・海藻1.1%
 今月の下がった主な項目・・・果物（-）11.4%、衣料（-）3.6%、シャツ・セーター・下着（-）7.1%、保健医療サービス（-）2.8%

生鮮食品を除く総合は101.1となり、対前月比は（-）0.1%の下落、対前年同月比は（-）0.1%の下落であった。

■ 費目別指数

（平成7年=100）

区分	指数	上昇率 (%)		区分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.2	0.1	0.0	保健医療	110.5	△0.1	△1.4
食料	102.8	0.8	1.4	交通通信	97.2	0.2	△0.6
住居	101.4	0.2	△0.4	教育	108.4	0.0	0.9
光熱・水道	100.9	0.1	△1.6	教養娯楽	98.7	0.4	△0.4
家具・家事用品	96.4	0.1	△0.1	諸雑費	102.5	0.0	1.4
被服及び履物	99.4	△3.0	△1.8	生鮮食品を除く総合	102.6	△0.2	1.1